

新聞広告賞

今できることプロジェクト

河北新報社 営業本部

今できること
プロジェクト特集
〈前編〉

震災1年半後に思ったこと。
このままでは、みんな忘れてしまう。
何ひとつ、終わってはいないのに…
支援はこれから、ますます必要だというのに…

「今、わたしたちにできることは？」
その問いかけから始まった。



今できること

プロジェクト

今、わたしたちにできることはなんだろう。一人ひとりが自分にできることを考え、無理しないで続けること。一つひとつは小さな支援でも、積み重なり、長い時間継続すれば、それはとても大きな力となります。さまざまな支援の方法やスタイルを探しながら、ひとりでも多くの人のアクションにつながれば…。そんな想いで、2012年9月「今できることプロジェクト」がスタートしました。新聞連載では、支援を行っている人、支援を受ける人、その両者の生の声をていねいにひろいあげ、「そんな支援もあるんだ」という気づきのヒントをメッセージしました。

伝えることで、きっとまた始まることもある。
そんな想いでプロジェクトが立ち上がった。

◎企画・制作／河北新報社営業本部
◎後援／宮城県、仙台市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会

2013年3月5日

応援の気持ちお金を託す。



小野寺有希子 (60)



佐藤幸世子 (66)

今できること
プロジェクト

9月は特集記事連続掲載

2012年9月11日

支援を行う人、支援を受けた人。その想いの輪を多くの人に広げたかった。








今できること
プロジェクト

2013年3月5日

「今できること」が、多くの人の心を動かし、アクションにつながった。

何か被災地のためにしたいと、ずっと思っていた。小さいことかもしれないけれど、自分たちから動こうと思った。

「こんなことはいまや日本でもっと多くの人に知ってもらいたい。」「今できること」のコンセプト。

「今できること」の特集を読んで、自分も始めた。気づいた時から、できることから。

高平 真知子

今できること
プロジェクト

もっと前へ、もっと深く、
多くの人とつながりながら、
プロジェクトは続きます。



2013年3月6日






今できること
プロジェクト

自分でできることを、
探した、見つけた。
そして動いた。

2013年3月6日

- 広告主 —— IHI、アサヒビール、エイチ・アイ・エス、NTTデータ東北、鹿島建設、ケースデンキ、コセキ、JA全農みやぎほか51社・団体
- 掲載状況 —— 2012年8月31日から2013年3月6日まで、二連版全30段2回、全15段14回、全7段2回、雑報などを掲載。
- 広告活動 —— ウェブサイト、Facebook、カレンダー、交通広告、広告主主催イベントと連動。
- 企画 —— 河北新報社営業本部
- 制作 —— 創童舎
- 企画の概要と選定理由 —— 東日本大震災の風化が危惧される中、被災地・被災者の自立的な復興を目指し、読者と企業（協賛社）が連携して持続可能な支援活動につながるプロジェクトを、半年にわたって展開した。紙面では、「支援する人」「支援を受けた人」双方の様々な方々を9回シリーズで学習支援、商品購入支援、被災企業支援等の多くの事例を紹介し、読者が「自分のできる支援」を見つけ結実させた。また、ウェブサイトやSNSで県外にも被災地の現状を発信、読者対象のバスツアーを実施するなど支援の輪を広げた。被災地の新聞社が読者と企業をつなげ被災地支援に大きく貢献した企画として高く評価された。

新聞広告賞

LINKED

中日新聞社 広告局

2013年1月29日

2012年3月1日

2012年7月12日

2013年4月24日

2012年10月23日

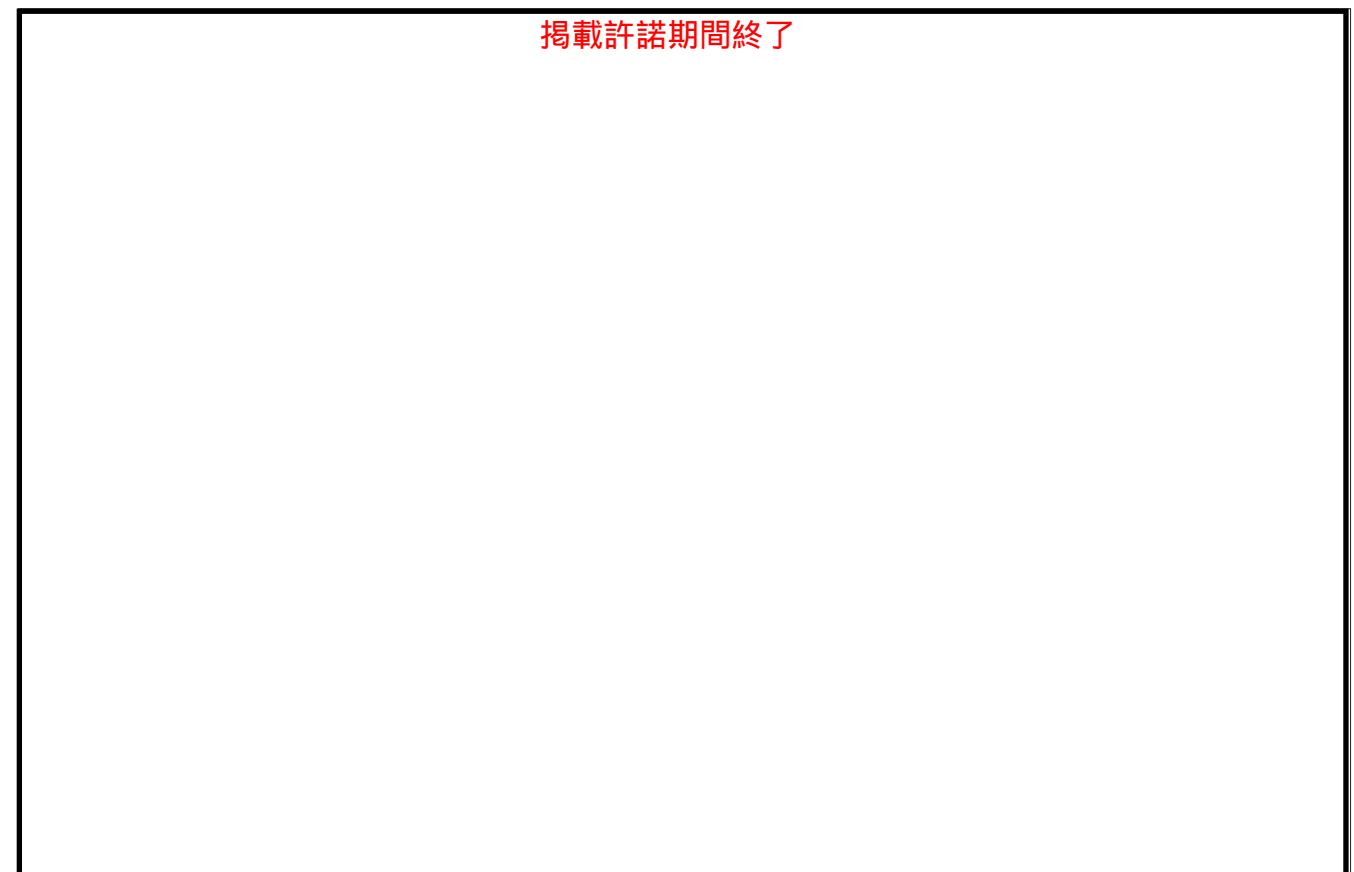
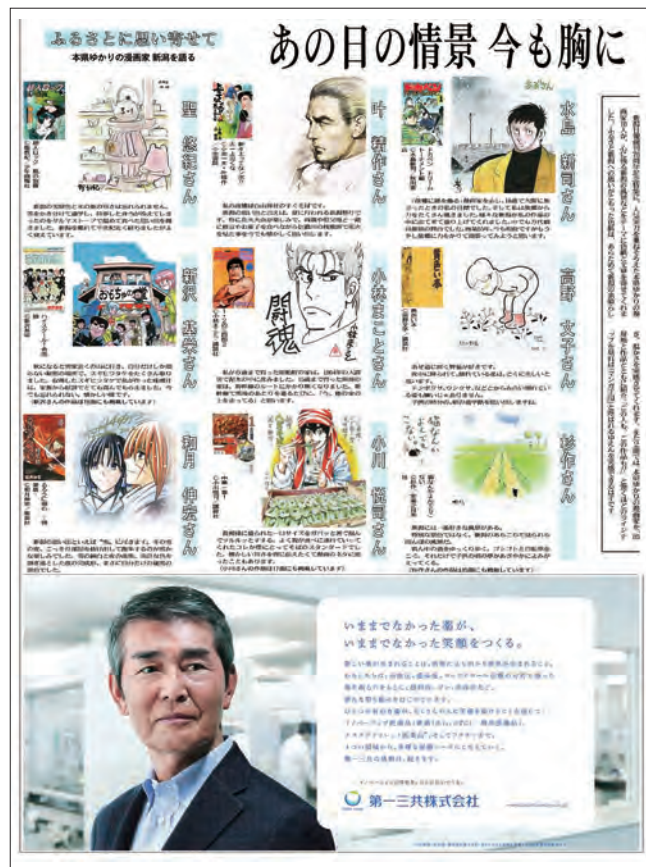
- 広告主 —— 愛知医科大学病院、安城更正病院、大垣市民病院、岡崎市民病院、名古屋大学医学部附属病院、藤田保健衛生大学病院
- 掲載状況 —— 2009年6月13日から2013年7月29日まで、朝刊全30段2回、夕刊全60段4回、地域広告版4ページ2回、朝刊市民版30段2回などを掲載。シリーズ継続中。
- 広告活動 —— ウェブサイト、病院でのデジタルサイネージ、小冊子と連動。
- 企画 —— 中日新聞社広告局
- 制作 —— H.I.P

● 企画の概要と選定理由
 地域医療の崩壊が進む中、命を守るために奮闘している医療現場の思いを伝えるとともに、地域住民に細やかな医療情報を発信した。紙面展開に加え、病院単位の小冊子を制作しデジタルサイネージ付きラックを配置して各病院で配布したほか、企画に際して取材した膨大な情報をウェブサイトにも掲載し、緊急性の高い情報を絶えず引き出せるようにしたことによって大きな反響を呼んだ。様々な制約から取り組みにくかった医療広告を、新聞が持つ信頼性や詳報性をベースに完成度の高い企画に仕上げた点が高く評価された。

新聞広告賞

漫画家が描くふるさと新潟 新潟マンガ王国

新潟日報社 広告事業本部



- 広告主 —— 新潟県、新潟市、サントリー、第一三共、カッパ・クリエイティブホールディングス、麒麟ビール、ピーシー・イー、J-オイルミルズ、TOYO TIRES、エヌ・イー・ジム、菊水酒造、第四銀行、トップカルチャー、日本アニメ・マンガ専門学校など21社・団体
- 掲載状況 —— 2012年11月3日、朝刊別刷り20ページ特集を発行。
- 広告活動 —— テレビCM、漫画家フェアの開催、県内外の書店・駅・アンテナショップ等での別刷り配布。
- 企画 —— 新潟日報社広告事業本部、電通
- 制作・扱い —— 電通

● 企画の概要と選定理由
 「マンガ・アニメ情報館」と「マンガの家」を新潟市が開設するタイミングをとらえ、別刷り20ページ特集の中で、水島新司さんや高橋留美子さんら新潟ゆかりの漫画家に、ふるさとへの思いを色紙やコマ割り漫画で表現してもらったほか、書き下ろし漫画による協賛社広告などで「マンガ王国新潟」を余す所なくアピールした。書店と協力して県内外の店舗で「新潟の漫画フェア」を開催し、紙面で告知した「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」には約5万人を集客するなど、若年層から高齢層まで幅広く訴求した。新聞広告が持つ力を遺憾なく発揮した企画として高く評価された。

新聞広告賞

神戸新聞+Design

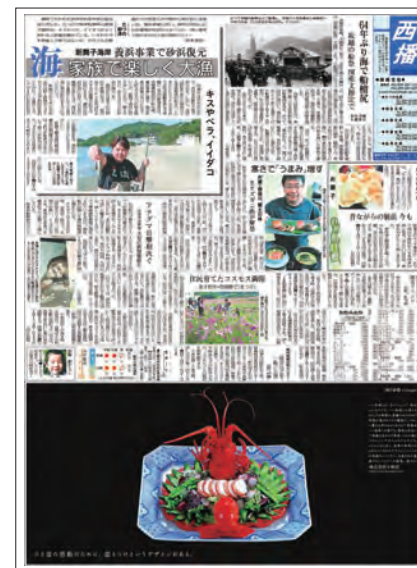
神戸新聞社 営業局

デザインを考える広告
神戸新聞+Design
 10月20日は新聞広告の日。
 モノづくりや企業経営に、都市の魅力づくりや観光振興に。デザインはなにをプラスできるか？本日、神戸新聞は広告をとおして、読者とともに考えます。
 ◎掲載面 4~9面、31~33面、36・37面



- 広告主 —— おみや、朝来市、明石市立文化博物館、社会福祉法人光朔会 オリムピア、中納言、マルイチ、薫寿堂、淡路瓦工業組合、ブルボン ビーンズドーム、社菓庵 末永、スタジオキイチ、デザイン・クリエイティブセンター神戸
- 掲載状況 —— 2012年10月20日、朝刊1面突き出し、全5段10点、半5段2点を掲載。
- 企画 —— 神戸新聞社営業局、神戸新聞事業社
- 制作 —— 田中有史オフィス
- 扱い —— 神戸新聞事業社

●企画の概要と選定理由
 ユネスコのデザイン都市に認定されている神戸市に「デザイン・クリエイティブセンター神戸」が完成したことを契機に、地域の多様な食、文化、工芸などの個性的な素材をデザインという視点でとらえ、11の地域版の記事下全12本のパノラマ作品として表現した。城、鬼瓦、財布、どら焼きなどを黒地の紙面に浮かび上がらせた美しいビジュアルは、読者のみならず協賛広告主からも感嘆の声が相次いだ。デザインという切り口と斬新なクリエイティブが、新聞広告の表現領域を広げた企画として高く評価された。



新聞広告賞

飲酒運転撲滅プロジェクト「TEAM ZERO FUKUOKA」

西日本新聞社 広告局

心に、ゼロを灯そう。

このライトアップは、飲酒運転撲滅をめざす、みんなの誓いの証し。

行政、企業、民間団体の協力によって、実現しました。

はもとスペース 福岡ソフトバンクホークス 福岡ソフトバンクホークスマーケティング
 サンアリーシア&ズビレッジ九州支社 福岡県医師会 N.T.T.西日本 福岡支店 西日本鉄道
 福岡大学 福岡運輸 英産館 筑紫女学園 アビスパ福岡 サッポロビール九州本部
 クラウドビジョン AOKI エルポルチーノ 九州国際大学 ヴィトワ モリタコルフ
 日本自動車連盟福岡支部 福岡タワー 日本製紙 福岡 ハスト電機 パンタタタシー
 フジヤマ建設 福岡朝日タクシー 福岡トヨペット 電通テック 如本電 博多組九州支店
 西日本放送 西日本新聞イベントサービス 鹿児島放送 とうじ 鹿児島テレビ放送
 学研塾 テレビ宮崎 イムズナナント会 宮崎放送 九州 Love M.I.I. Club
 TVQ九州放送 日本通信販売 プロシモ AKAZUKI.N 福岡運輸事業協同組合
 田村産業 長崎国際テレビ キッズコミュニケーション 九州朝日放送 鹿児島放送
 ホタルニュー長崎 西部電気工業 桜Cメディア サウジー LC 池田事務所 森平印刷
 興隆酒造 マルツキデザイン 飯沼神楽玉グループ/毎工房 プラセス製菓 AGRATIOS
 ライト スーライヴ スターフライヤー サガテレビ 三五倉タクシー インテックス
 HOP ホットペッパー グルメ 九州太平洋商事 カステラ本舗 福岡屋 ぬめタウン
 ならみ 長崎放送 本邦酒造 アドバスカル 平成23年度久留米大学医学部卒業生一同
 ハトソニックESコンジュアリング MIT CAST タオリティ21 ティーゼロ 大成印刷
 福岡ハルコ ノヴェル 長崎文化放送 ジョイフル インテリア月川 大分朝日放送
 NOW CREATE J.R.西日本 テレビ熊本 ハズワック にしけい アルモニ サニックス
 高尾酒造 ホルボ・カーズ福岡 産経新聞社 テレビ大分 ツカサ博研 博多産同発
 福岡銀行 ヒット住宅展示場 三好不動産 サンコーライフサポート 久留米大学
 日本興産損害保険 損害保険ジャパン 九州エース電機 アフック福岡総合支社 J&K
 西鉄旅行 西日本新聞トップクリエ マクロスデザイン 西日本新聞印刷 テレビ山口
 K.K.T.エンタープライズ 学生情報センター 旭化成ヘルハウス 三井ホーム 熊本放送
 N.T.T.コム九州支社 サ・カンパニー 中央印刷紙工 博多港五郎 富士自動車
 天神地下街 福岡県レクリエーション協会 J.R.博多シティアミューズメントステーション ヒロカネ
 竹中工務店 福岡県 Honda Cars 全日本空輸 有限責任監査法人トーマツ 教中八幡野
 博多学園 博多高等学校 ヤナセ九州営業本部 ヤナセハイエールセンター福岡 筑光社
 スウェーデンハウス ヤマハミュージック九州 イアックスリサーチ福岡 新築住宅
 東海クラブクレーン福岡 スカド観光センター トヨタカローラ福岡 トヨタホームつくし
 大船ハウス工業 ジェイアール九州ハウスホテル 第一法規 トリムシア
 永くおる習習クリニック 三菱重工印刷機工機 ランディックアソシエイツ 松岡モーターズ
 エトナ アカマ印刷 東光印刷 西日本わかばスクール チケットぴあ九州 グローベック
 グランドメゾン 鬼塚公認会計士・税理士事務所 アイ・ケイ・ケイ あるくリサーチセンター
 西日本新聞広告社 電通九州 西日本新聞エリアセンター連合会 西日本新聞社

福岡のみんなの力で、飲酒運転ゼロへ。
TEAM ZERO FUKUOKA
<http://team-zero-fukuoka.com/>

2012年3月25日 二連版全30段

8月25日
 土曜
 読者投票
 2012年7月

福岡県内
 飲酒運転撲滅
 プロジェクト

問題はおもしろ、
 飲んだ日の
 翌朝でした。

飲酒運転は朝多い、
 という事実。

福岡のみんなの力で、飲酒運転ゼロへ。
TEAM ZERO FUKUOKA

なぜやめないんだ。
 理解できない。
 王貞治

私は、悲しい。
 田中麗奈

TEAM ZERO FUKUOKA TEAM ZERO FUKUOKA

TEAM ZERO FUKUOKA TEAM ZERO FUKUOKA

ゼロへの取り組みは みんなの力で

小川 洋 福岡県知事

福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例が制定

飲酒運転は絶対しない! させない! 許さない!

飲酒運転をゼロへ

「飲酒運転撲滅条例」が4月1日から施行されます

春の交通安全県民運動

- 広告主 —— 連合、福岡県など約 300 社
- 掲載状況 —— 2011年7月25日から2013年5月25日まで、ラッピング30段(表裏)3回、センター4ページ5回、全15段26回などを掲載。
- 広告活動 —— ウェブサイト、交通広告、屋外広告、啓発イベント、福岡タワーへの「0(ゼロ)」イルミネーション点灯、タクシーへのステッカー掲出など運動。
- 企画 —— 西日本新聞社広告局、電通九州
- 制作 —— 電通九州、アドバスカル、西日本新聞トップクリエ

● 企画の概要と選定理由

幼い3人の命が奪われた2006年の死亡事故を教訓に、飲酒運転撲滅を目指すべきは福岡県の飲酒運転事故件数は10年に全国ワースト1位になった。これを受け、市民、行政、企業などを巻き込んで飲酒運転「ゼロ」を目指すプロジェクトを開始、事故から5年となる11年8月25日、朝刊本紙ラッピング特集でスタートを宣言し、毎月25日の飲酒運転撲滅の日を中心に取り組んだ。広告企画にとどまらず、交通広告・屋外広告のほか、編集記事の展開、「市民の集い」の開催、アルコールチェッカー等オリジナルグッズの配布など、あらゆる手段を駆使して飲酒運転を撲滅する強い意志を示した。新聞社が社会貢献に真面目に取り組んだ、スケールの大きい優れた企画として高く評価された。